

【一】 次の文を読み、問いに答えよ。

飛鳥文化は、渡来人の活躍もあって百済や高句麗、そして中国の南北朝時代の文化の影響を受け、当時の西アジア・インド・ギリシャの文化ともつながる特徴を持っていた。この時代になると 1 に代わって豪族の権威を示すものとして寺院の建立がなされ、( 1 )の飛鳥寺、( 2 )創建といわれる。

四天王寺・法隆寺・①中宮寺、秦河勝の②広隆寺などの寺院がある。また大陸や朝鮮半島からの新しい技術者に指導されて仏像彫刻も盛んとなった。代表的仏師 ( 3 ) の作品と伝えられるものに法隆寺金堂釈迦三尊像や法隆寺夢殿③救世観音像などがある。

白鳳文化は、律令国家が形成される時期の生氣ある若々しい文化で新羅から伝えられた中国の唐の初期の文化の影響を受け、仏教文化を基調にしている。( 4 ) によって大官大寺・④薬師寺がつくられた。仏像彫刻には、おおらかな表情を伝えている⑤興福寺仏頭などがあるが、これはもともと蘇我石川麻呂が建立した山田寺の薬師三尊像の頭部と推定されている。またこの時代の絵画としては、1972年に発見された 2 古墳壁画や1949年に焼損した 3 金堂壁画が有名である。

天平文化は、唐の文化の影響を強く受けつつ律令国家確立期の天皇をはじめ貴族らの気迫を反映した荘厳な仏教文化で鎮護国家のための祈願がなされ、仏教の教理の研究も盛んに行われた。この時代の仏像彫刻には、表情豊かで調和のとれた仏像が多く金銅像や木像のほかに木を芯として粘土を塗り固めた 4 や、原型のうえに麻布を幾重にも巻き漆で塗り固め、後で原型を抜き取るなどの 5 の技法が発達した。 5 で作られている仏像に、東大寺法華堂の⑥不空罽索観音像や、興福寺の⑦阿修羅像、⑧唐招提寺の⑨鑑真像などがある。建築では、三角形の木材を交互に積み上げて造られている 6 造で高床式の構造をもつ正倉院宝庫があり、( 5 ) の遺品など数千点の宝物が納められている。

問1 1 ~ 6 にあてはまる語を記せ。ただし、6 はひらがなで記せ。

問2 ( 1 ) ~ ( 5 ) にあてはまる人名を次から選び、記号で答えよ。

ア. 鞍作鳥 イ. 聖武天皇 ウ. 蘇我馬子 エ. 天武天皇 オ. 厩戸王.

問3 下線部①~⑨について、問いに答えよ。

① この寺院に伝えられているものを次から選び、記号で答えよ。



ア



イ



ウ



エ

② この寺院に見られる仏像を【写真群】から選び、記号で答えよ。

【写真群】



ア



イ



ウ



エ



オ

③ これを上【写真群】から選び、記号で答えよ。

④ この東塔は、裳階もこしがつき六重塔に見えるが、三重塔である。各層の軒のきと裳階が交互に出入りして変化に富み、アメリカ人\_\_\_\_\_はその均整美に感嘆し、「凍れる音楽」と表現した。  
\_\_\_\_\_にあてはまる人名を次から選び、記号で答えよ。

ア. フェノロサ    イ. クラーク    ウ. モース    エ. フォンタネージ

⑤ これを上【写真群】から選び、記号で答えよ。

⑥ これを上【写真群】から選び、記号で答えよ。

⑦ これを上【写真群】から選び、記号で答えよ。

⑧ これを次から選び、記号で答えよ。

ア



ウ

イ



エ



⑨ この人物が戒壇を設けた寺院を次から選び、記号で答えよ。

ア. 興福寺    イ. 西大寺    ウ. 東大寺    エ. 法隆寺

【二】 次の文の \_\_\_\_\_ にあてはまる書名や人名を記せ。

天武天皇による編纂事業は、712年に『 1 』、720年に『 2 』となって完成した。『 1 』は、古くから宮廷に伝わる「帝紀」「旧辞」をもとに 3 によりならわせた内容を 4 が筆録したもので、神話・伝承から推古天皇にいたるまでの物語であり、『 2 』は、 5 が中心となって編纂したもので、中国の歴史書の体裁にならない漢文の編年体で書かれている。

【三】 次の文を読んで問に答えよ。

八世紀ころから神社の境内に 1 寺を建てたり、寺院の境内に守護神を（ 1 ）として祭り、神前で読経する 2 の風潮がみられたが、平安時代に入るとこの傾向はさらに広まっていった。天台宗・真言宗では、奈良時代の寺院とは違って山岳の地に（ 2 ）を営み、山中を修行の場としたから、在来の山岳信仰とも結びついて（ 3 ）の源流となった。

平安時代初期には天台宗・真言宗が広まり、その影響を受けて神秘的なa密教芸術が新たに発展した。

建築では、寺院が山間に建てられるようになり、その地形に応じてそれまでの形式にとらわれない（ 2 ）配置の密教寺院が建てられた。現在に残る代表的な遺構は女人高野と呼ばれる室生寺の五重塔と金堂である。

彫刻では、一本の材木で仏像を丸彫りした 3 の技法が取り入れられ、力強い波形のひだを重ねる 4 が流行した。仏像では加持祈祷によって人々の願いをかなえる如意輪観音像・薬師如来像・不動明王像などが作られた。特に、①神護寺の薬師如来像、②室生寺の釈迦如来坐像、③観心寺の如意輪観音像、④法華寺の十一面観音像などが有名である。また 2 を示すものとして⑤薬師寺の僧形八幡神像が有名である。

絵画では、密教画に優品が多く、不動明王像や密教の教理を描いた 5 がある。園城寺の不動明王像（黄不動）、神護寺や教王護国寺の両界 5 などが有名である。

問1  1 ～ 5 にあてはまる語を記せ。

問2 （ 1 ）～（ 3 ）にあてはまる語を次から選び、記号で答えよ。

ア. 鎮守 イ. 修験道 ウ. 自然崇拝 エ. 自然崇拝

問3 下線部 a について、真言宗の密教を天台宗の台密に対して何というか、記せ。

問4 下線部①～⑤を示す写真を次から選び、記号で答えよ。



ア



イ



ウ



エ



オ

【四】 次の文の空欄にあてはまる語を語群から選び、記号で答えよ。また下線部について問いに答えよ。

文化の国風化を最も良く表しているものは、( 1 ) の発達であって、その結果として、国文学がおおいに栄えた。漢字を用いて日本語を表すために工夫された( 2 ) が古くからあったが、やがて漢字の草書体を簡略化した( 3 ) や、漢字の字形の一部をとった( 4 ) が表音文字としてうまれてきた。これらの表音文字は日本語の自由な表現を容易にし、日本人の感覚を生き生きと伝えることを可能にした。

貴族の公式の生活では、従来通りに漢字が重んじられたがその文章は次第に和風のものとなっていた。これに対して文学の発達は目覚ましかった。詩歌の面ではそれまでの a 勅撰漢詩集にかわって b 最初の勅撰和歌集である( 5 ) が編集され、<sup>せんさい</sup>繊細で技巧的なその歌風は古今調と呼ばれて長く和歌の模範とされた。勅撰和歌集はこの後も相次いで編集され、和歌は公の席でも日常生活でも盛んに作られた。

物語としては、かぐや姫の伝説を題材とした( 6 ) が先駆的作品とされており、続いて歌物語ともいうべきもので、歌人在原業平を主人公とする( 7 ) が作られた。やがてしだいに現実の社会に取材した、写実的で小説的興味を持つ( 8 ) のような作品も生み出された。( 9 ) の盛んな頃には宮廷を舞台として理想的な貴族の生涯を描いた傑作長編小説の( 10 ) が( 11 ) によって書かれた。同じ頃、鋭い観察で宮廷生活の体験などを随筆風<sup>しる</sup>に記した( 12 ) は、( 13 ) によって著わされた。この他、c 日記文学についても、宮廷女性の手になる傑作が多く、いずれも女性特有の細やかな感情をこめて記されている。

【語群】

ア. 仮名    イ. 紫式部    ウ. 伊勢物語    エ. 清少納言    オ. 小野小町    カ. 宇津保物語  
キ. 枕草子    ク. 平仮名    ケ. 万葉仮名    コ. 幕藩体制    サ. 竹取物語    シ. 拾遺和歌集  
ス. 片仮名    セ. 万葉集    ソ. 大和物語    タ. 源氏物語    チ. 撰関政治    ツ. 古今和歌集

問1 下線部 a にあてはまらないものを次から選び、記号で答えよ。

ア. 凌雲集    イ. 文華秀麗集    ウ. 経国集    エ. 性霊集

問2 下線部 b について、次の問いに答えよ。

I. この勅撰和歌集を編纂した天皇を次から選び、記号で答えよ。

ア. 嵯峨天皇    イ. 醍醐天皇    ウ. 村上天皇    エ. 清和天皇

II. この勅撰和歌集が編纂された年代を次から選び、記号で答えよ。

ア. 823年    イ. 905年    ウ. 935年    エ. 1010年

III. この勅撰和歌集と関係する人物を次から選び、記号で答えよ。

ア. 山上憶良    イ. 大伴家持    ウ. 藤原定家    エ. 紀貫之

問3 下線部 c について、次の説明文に該当する作品を次から選び、記号で答えよ。

A 国司の館を出発、55日をついやして帰京するまでの様子を、女性の筆に託して女性の立場で書いている。

B 藤原兼家との結婚、夫との不和、あきらめ、子への愛など21年間の生活を日記風にしたもの。

C 少女時代を父の赴任地である上総でそだった作者が、家族とともに帰京の途についたところから筆をおこした自伝文学。

ア. 土佐日記    イ. 和泉式部日記    ウ. 更級日記    エ. 蜻蛉日記

【五】 次の文の空欄にあてはまる語を語群から選び、記号で答えよ。また下線部について問いに答えよ。

平安時代中期になると政治の乱れや地方武士の反乱などによる社会不安の増大の結果、来世での幸福を願うようになり、ひたすら a \_\_\_\_\_ 如来を信仰しその力にすがって極楽に往生したいと願う浄土信仰が流行するようになった。すでに10世紀半ばには、「市聖」といわれた（ 1 ）が都でこの教えを説き、10世紀後半には（ 2 ）が『往生要集』を著わし、浄土信仰の教義を説いた。さらに釈迦の死後を三つに分け、しだいに世が乱れていくとする b 末法思想 の流行によって、いっそう浄土教は発達した。この結果、c 往生伝 が書かれたりした。こうした浄土教の発展に伴い、貴族の間にはこの世に浄土を再現しようとして、a \_\_\_\_\_ 堂を建立することが流行した。（ 3 ）は宇治に d \_\_\_\_\_ を建て、本堂の鳳凰堂には（ 4 ）作の a \_\_\_\_\_ 如来像が安置され、e \_\_\_\_\_ の技法が用いられた。絵画では、柔らかい線と彩色で描かれた大和絵が始まり、画家として（ 5 ）が名高い。書道でも唐様に対し和様が発達し f 三蹟 と呼ばれる人たちが有名である。

【語群】

ア. 定朝 イ. 源信 ウ. 空也 エ. 藤原頼通 オ. 慶滋保胤  
カ. 最澄 キ. 鞍作鳥 ク. 空海 ケ. 藤原道長 コ. 巨勢金岡

問1 下線部 a にあてはまる語を漢字3字で記せ。

問2 下線部 b によると、わが国で末法の世にはいつの年代はいつごろといわれているか、その年代を次から選び、記号で答えよ。

ア. 1001年 イ. 1027年 ウ. 1052年 エ. 1062年

問3 下線部 c に『日本往生極楽記』がある。この作品の著者を上の語群から選び、記号で答えよ。

問4 下線部 d にあてはまる語を漢字3字で記せ。

問5 下線部 e にあてはまる語を漢字3字で記せ。

問6 下線部 f は、\_\_\_\_\_・藤原佐理・藤原行成の三人である。空欄にあてはまる人名を記せ。

【解答】

[一] 問1 1. 古墳 2. 高松塚 3. 法隆寺 4. 塑像 5. 乾漆像 6. あぜくら

問2 1 (ウ) 2 (オ) 3 (ア) 4 (エ) 5 (イ)

問3 ① (ア) ② (オ) ③ (ア) ④ (ア) ⑤ (ウ) ⑥ (エ) ⑦ (イ) ⑧ (エ) ⑨ (ウ)

問1の1～5は各2点、問1の6・問2・問3は各1点 計25点

[二] 1. 古事記 2. 日本書紀 3. 稗田阿礼 4. 太安万呂 (太安麻呂) 5. 舎人親王

[三] 問1 1. 神宮 2. 神仏習合 3. 一木造 4. 翻波式 5. 曼荼羅

問2 1 (ア) 2 (エ) 3 (イ)

問3 東密

問4 ① (イ) ② (エ) ③ (ウ) ④ (オ) ⑤ (ア)

問1・問3は各2点、問2・問4は各1点 計20点

[四] 1 (ア) 2 (ケ) 3 (ク) 4 (ス) 5 (ツ) 6 (サ) 7 (ウ)

8 (カ) 9 (チ) 10 (タ) 11 (イ) 12 (キ) 13 (エ)

問1 (エ) 問2 I (イ) II (イ) III (エ) 問3 A (ア) B (エ) C (ウ)

各1点 計20点

[五] 1 (ウ) 2 (イ) 3 (エ) 4 (ア) 5 (コ)

問1 阿弥陀 問2 (ウ) 問3 (オ) 問4 平等院

問5 寄木造 問6 小野道風

問1・問4～問6は各2点、1～5・問2・問3は各1点 計15点